

1163

第 二 冊

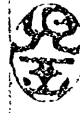
大臣



大臣



事務局長



事務局長



参事官

参事官

参事官

参事官

第三第四册

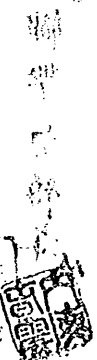
七月廿九日

七月廿九日



三十三年十二月結

参事官



参事官

参事官

参事官

参事官

公使館書記官の臨時台渡電信建設部  
 長宛沖繩丸の関元勅定送付書  
 并給金の換券送付書  
 果報書共在英加薩公使より送付  
 右一括の回付取書に有る金子電信建  
 設部長、送付書と送付書宛の換券宛  
 元更に送付書宛の英加薩公使、轉送  
 書宛宛の宛中宛也  
 送付書沖繩丸の関元勅定送付書宛  
 轉送書宛宛の宛中宛也  
 送付書宛宛の宛中宛也

手紙の付く如き物に付ては、其の旨を  
己の心で承知せしむる所あり、其の旨を  
承知せしむる所あり、其の旨を承知せしむる所あり

陸軍省 送甲第二〇三〇號

七月三十日

少将と案

何之旨

七月三十日

陸軍省

古少石

証

一莫德氏子官九折五折九折五折

由ハ陣繩丸建造造法費仕掛御金橋渡

正金銀行倫敦支店為習芳名付与

付本正領收也

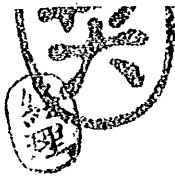
明治九年九月廿九日

誰時現金部後友史

臨時在府會信運送了常友小山教

左莫心常公使使事五元友洋集代者老

監事首



明經三

陸軍省 參第 一 一 一 號

陸軍省 七月二十七日

七月廿七日

台日カ一八三號

七月廿四日

七月廿五日

陸軍省 第七五〇 號

沖繩九建造諸費決算残金ノ對スル

受領証外務大臣、廻送スルニ爲ス

海底電信線布設ハ沖繩九竣工ノ付右建造

ノ費ハ諸費決算書ノ付右特殊會計ノ外

務大臣ヨリ廻送スルニ付右特殊會計ノ外

領証書美進支向左案ニ付外務大臣ハ以

照會スルニ付右案ニ付也

以迄ハ九月七日ヨリ

陸軍省 参第 一 一 一 號



陸軍大臣侯爵大山巖殿

陸軍大臣 侯爵 大山巖殿

外務大臣 照會案

本月十日送才一也二号以子立黄甲集院  
 公使館書記長了臨時台灣電信建設部長  
 宛沖繩丸之関之ん其定次昇書於系列  
 全与増券添派和送送係几送果相告  
 其在美加藤公使了送付付付太一培  
 以四与和书印之送学電信建設部長付  
 送与交与和州为増券了付之受候証

書差由山加藤公以合増送の由を以て  
 一也

陸軍大臣

外務大臣宛

近々沖繩丸を運送の関するに加藤公は此  
 の幹旋力あり諸事の結果あり  
 今四年はもその表に著記已、その  
 爲に其表に合、加藤公は其の  
 謝意を表すに度立、其の故に  
 一應

謝許中述之於加藤必也古以爲之  
本之必也也

臣田臺海留傳其語音